

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	社会教育課(社会教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	花咲放課後教室移転事業	事業番号	12819

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10	青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	令和4年度より花咲小学校の旧啓雲中学校への移転に伴い空き教室が不足し、校内に放課後教室の開設が困難となることから、敷地内の校舎東側に放課後教室を新築するため、令和2年度に測量及び実施設計、令和3年度に新築工事を行い、児童が安心・安全に放課後を過ごせる居場所づくりを推進する。
成果	国の「新・放課後子ども総合プラン」を基本とした「根室市放課後子どもプラン」を推進し、保護者の就労や疾病、介護等により昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、全ての児童が放課後等に安心・安全な居場所を得られるほか、様々な体験活動や交流活動等とおして児童の健全育成が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2							測量及び実施設計
	R3							新築工事
	R4							供用開始
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				21,692	255,200		276,892
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債			21,600	255,200		276,800
		その他						
		一般財源			92			92
	人員(人工)				0.09	0.09		0.18
	職員費(人員×7,673千円)				691	691		1381
総事業費				22,383	255,891		278,273	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	測量及び実施設計進捗率	0%	100%	-
	花咲小学校放課後教室建設進捗率	0%	0%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	学校敷地内に放課後教室があることで、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境が整い、また、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となることから、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣が確立され、子どもの健全育成が図られる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>近年の女性就業率の上昇等による共働き世帯や、ひとり親世帯の増加に伴い、放課後教室等の利用も増加しており、留守家庭世帯にとって、放課後の児童の居場所確保はニーズが高い。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>子どもの教育・健全育成を目的として、市教委が開設しているものであり、市において実施すべきである。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>本事業は花咲小学校の移転に合わせて行う必要があるため、令和4年度からの供用開始を目指しており、緊急性は高い。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>移転後の花咲小学校には空き教室が無いため、児童の安全確保の観点から放課後教室を学校敷地内に新築することは、国の方針や保護者のニーズからも適切である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>留守家庭世帯に対し、放課後に児童が安全・安心して健やかに活動できる場の提供が図られる。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>本事業の実施により、子ども達の健全育成が図られるほか、移転する学校の敷地内に隣接させることにより、利用する児童の安全確保が図られることから有効である。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【計画どおり実施】</p> <p>放課後に子どもが安全に過ごすことができる居場所を確保するとともに、様々な体験活動や交流活動等とおして児童の健全育成が図られるよう事業を進められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>児童が放課後を安心・安全に過ごし、様々な体験を通して健全育成が図られ、保護者も安心して預けられるような環境整備に努める。</p>